

1. 製品及び会社情報

化学品の名称 : 業務用 香りつづくトップ 抗菌 plus Shiny Rose

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 衣料用洗剤

使用上の制限 : 推奨用途以外で使用しない

会社情報

供給者の会社名称: ライオン株式会社

住所: 〒111-8644 東京都台東区蔵前一丁目3番28号

担当部門: ヘルス&ホームケア事業本部 事業統括部

電話番号: 03-6739-3600

FAX番号: 03-6739-9765

メールアドレス: gsds@lion.co.jp

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	区分に該当しない	
	可燃性ガス	区分に該当しない	
	エアゾール	区分に該当しない	
	酸化性ガス	区分に該当しない	
	高压ガス	区分に該当しない	
	引火性液体	区分に該当しない	
	可燃性固体	区分に該当しない	
	自己反応性化学品	区分に該当しない	
	自然発火性液体	区分に該当しない	
	自然発火性固体	区分に該当しない	
	自己発熱性化学品	分類できない	
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない	
	酸化性液体	区分に該当しない	
	酸化性固体	区分に該当しない	
	有機過酸化物	区分に該当しない	
	金属腐食性化学品	区分に該当しない	
	鈍化爆発物	区分に該当しない	
	健康有害性	急性毒性 (経口)	区分に該当しない
		急性毒性 (経皮)	分類できない
		急性毒性 (吸入: 気体)	分類できない
急性毒性 (吸入: 蒸気)		分類できない	
急性毒性 (吸入: 粉じん、ミスト)		分類できない	
皮膚腐食性/刺激性		分類できない	
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		分類できない	
呼吸器感作性		分類できない	
皮膚感作性		分類できない	
生殖細胞変異原性	分類できない		

環境有害性	発がん性	分類できない
	生殖毒性	区分 1A
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
	水生環境有害性 短期（急性）	分類できない
	水生環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

ラベル要素

絵表示（GHS JP）



注意喚起語（GHS JP） : 危険

危険有害性（GHS JP） : 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ

注意書き（GHS JP）

安全対策 : 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置 : ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。

保管 : 施錠して保管すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	官報公示整理番号		CAS 番号
		化審法番号	安衛法番号	
ポリ（オキシエチレン） ＝アルキルエーテル（アルキル基の炭素数が12から15までのもの及びその混合物に限る。）	10	(7)-97	既存化学物質	68439-50-9
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸ナトリウム (以下2成分を含む)	5.3	(3)-1884	既存化学物質	68411-30-3
ウンデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム	10 未満	(3)-1884	既存化学物質	27636-75-5
ドデシルベンゼンスルホン酸ナトリウム	10 未満	(3)-1884	既存化学物質	25155-30-0
エタノール	10 未満	(2)-202	既存化学物質	64-17-5
3-メトキシ-3-メチルー1-ブタノール	10 未満	(2)-3079	既存化学物質	56539-66-3

4. 応急措置

応急措置

- 応急措置 一般 : ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。
- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
- 眼に入った場合 : 予防措置として眼を水ですすぐ。
- 飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは医師に連絡すること。

医師に対する特別な注意事項

- その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
- 使ってはならない消火剤 : データなし
- 火災時の危険有害性分解生成物 : 有毒な煙を放出する可能性がある。
- 消火時の保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
自給式呼吸器。
完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

- 応急処置 : 出動は、適切な保護装備を身につけた有資格者に限られる。

緊急対応者

- 保護具 : 適切な保護具を着用して作業する。
詳細については、第8項の「ばく露制御/個人保護」を参照。

環境に対する注意事項

- 環境に対する注意事項 : 環境への放出を避けること。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

- 浄化方法 : 吸収剤の中で拡散した液体を吸収する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 必要に応じ局所排気装置や洗眼設備を設置する。
- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
個人用保護具を着用する。
- 接触回避 : データなし
- 衛生対策 : 作業服と外出着とを分ける。個別に洗う。
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 施錠して保管すること。
換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
- 安全な容器包装材料 : 製品使用容器に準ずる。

8. ばく露防止及び保護措置

エタノール (64-17-5)	
日本 - ばく露限界値	
許容濃度 (ACGIH)	TWA -, STEL 1000 ppm

- 設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

保護具

- 呼吸用保護具 : (作業内容等に応じて) 保護マスク
- 手の保護具 : (作業内容等に応じて) 不浸透性の保護手袋
- 眼の保護具 : (作業内容等に応じて) 保護眼鏡
- 皮膚及び身体の保護具 : (作業内容等に応じて) 不浸透性の保護衣

個人用保護具シンボル



- 環境へのばく露の制限と監視 : 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 薄青緑色透明
- 臭い : 芳香がある
- pH : 6.5 - 8.0 (原液)
- 融点 : データなし
- 凝固点 : 0 °C 以下
- 沸点 : 100 °C 以上
- 引火点 : 示さず。(クリーブランド開放式)
- 自然発火点 : データなし
- 分解温度 : データなし
- 可燃性 : データなし
- 蒸気圧 : データなし
- 相対密度 : 1.017 (比重) (20°C)
- 密度 : データなし
- 相対ガス密度 : データなし

溶解度	: 水に任意に溶ける。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発限界 (vol %)	: データなし
粘性率	: 20 mPa·s 以下 (粘度)
動粘性率	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の使用、保管、運送の状況下では、当製品は反応しません。
化学的安定性	: 通常の下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 推奨の保存条件及び取扱条件の下では何もありません (第7節参照)。
混触危険物質	: データなし
危険有害な分解生成物	: 通常の使用条件及び保管条件下において、有害な分解生成物は生成されない。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)	: 区分に該当しない (製品のデータ) LD50>2000mg/kg(急性毒性推定値)。 (成分のデータ) ポリオキシエチレンアルキルエーテル(15E0):LD50=1800mg/kg 【Environmental and Human safety of Major Surfactants, SDA※】 直鎖アルキルベンゼンスルホン酸(ナトリウム塩):LD50=1080mg/kg 【HERA(2013)※】 本剤の1.2%は毒性が未知の成分からなる。
急性毒性 (経皮)	: 分類できない 情報なし
急性毒性 (吸入)	: 分類できない (気体) 分類できない (蒸気) 分類できない (粉じん、ミスト)
急性毒性 (吸入:気体)	: 情報なし
急性毒性 (吸入:蒸気)	: 情報なし
急性毒性 (吸入:粉じん、ミスト)	: 情報なし
急性毒性 (吸入:ミスト)	: 情報なし
皮膚腐食性/刺激性	: 分類できない 情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	: 分類できない 情報なし
呼吸器感作性	: 分類できない 情報なし
皮膚感作性	: 分類できない 情報なし
生殖細胞変異原性	: 分類できない 情報なし

発がん性	:	分類できない 情報なし
生殖毒性	:	生殖能又は胎児への悪影響のおそれ (製品のデータ) 情報なし。 (成分のデータ) エタノール: ヒト疫学データで生殖毒性が認められる【DFGOT※ Vol. 7(1996)】
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	:	分類できない 情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	:	分類できない 情報なし
誤えん有害性	:	分類できない 情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期(急性)	:	分類できない 情報なし
水生環境有害性 長期(慢性)	:	分類できない 情報なし

残留性・分解性

追加情報なし

生体蓄積性

追加情報なし

土壌中の移動性

追加情報なし

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性	:	分類できない 情報なし
その他の有害な影響	:	追加情報なし

13. 廃棄上の注意

廃棄方法	:	許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
------	---	---------------------------------

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告 (UN RTDG)

国連番号 (UN RTDG) : 非該当
 正式品名 (UN RTDG) : 非該当
 容器等級 (UN RTDG) : 非該当
 輸送危険物分類 (UN RTDG) : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

特別な輸送上の注意 : 関係法令の定めに従う。
 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。
 転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に
 行う。

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

消防法 : 非危険物

労働安全衛生法 : 名称等を表示すべき危険物及び有害物
 エタノール
 【改正後 令和7年4月1日以降】
 名称等を表示すべき危険物及び有害物
 ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル (アルキル基の炭素数
 が12から15までのもの及びその混合物に限る。)
 【改正後 令和8年4月1日以降】
 名称等を表示すべき危険物及び有害物
 3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール
 ウンデシルベンゼンスルホン酸並びにそのアンモニウム塩及びナト
 リウム塩
 ドデシルベンゼンスルホン酸のアンモニウム塩及びナトリウム塩
 名称等を通知すべき危険物及び有害物
 エタノール
 【改正後 令和7年4月1日以降】
 名称等を通知すべき危険物及び有害物
 ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル (アルキル基の炭素数
 が12から15までのもの及びその混合物に限る。)
 【改正後 令和8年4月1日以降】
 名称等を通知すべき危険物及び有害物
 3-メトキシ-3-メチル-1-ブタノール
 ウンデシルベンゼンスルホン酸並びにそのアンモニウム塩及びナト
 リウム塩
 ドデシルベンゼンスルホン酸のアンモニウム塩及びナトリウム塩
 皮膚等障害化学物質等・皮膚刺激性有害物質
 ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル (アルキル基の炭素数
 が12から15までのもの及びその混合物に限る。)

毒物及び劇物取締法 : 該当しない

化学物質排出把握管理促進法 (PRTR 法) : 第1種指定化学物質 (法第2条第2項、施行令第1条別表第1)
 ポリ (オキシエチレン) = アルキルエーテル (アルキル基の炭素数
 が12から15までのもの及びその混合物に限る。) (10%)

	直鎖アルキルベンゼンスルホン酸及びその塩（アルキル基の炭素数が10から14までのもの及びその混合物に限る。）（5.3%）
船舶安全法	: 該当しない
航空法	: 該当しない
港則法	: 該当しない

16. その他の情報

参考文献	: <ul style="list-style-type: none">・SDA: The Soap and Detergent Association, 米国石鹼洗剤工業会（現在はAmerican Cleaning Institute）。・HERA: Human & Environmental Risk Assessment on ingredients of European household cleaning products、洗剤関連原料のヒト及び環境安全性評価。・DFGOT: Occupational Toxicants Critical Data Evaluation for MAK Values and Classification of Carcinogens（ドイツ学術振興会編）。・JIS Z 7252:2019。
------	---

「記載内容の取扱い」

この情報は、新しい知見に基づき改訂されることがあります。

記載内容は現時点で入手できた資料・情報・データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用下さい。

尚、営業秘密である成分情報は非開示（濃度においては幅記載を含む）と記載している場合があります。